

平成23年度文部科学省委託事業

「専修学校留学生総合支援プラン」関西型留学生就職支援基盤の構築3

大阪発「アジア交流コース」の創設・普及に向けて

～ 専修学校の職業教育を通じたアジアとの交流の促進 ～



社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会
大阪発「アジア交流コース」検討ワーキング

あいさつ	1
福田 益和 社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 会長	
長谷川 恵一 社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長	
第1章 専修学校における留学生の状況	2
1 専修学校（専門課程）の留学生数等	2
（1）全体の約2割が専修学校留学生	2
（2）大阪の留学生数は全国で2番目	2
（3）約9割がアジアからの留学生	2
2 専修学校における留学生の受入れに関する規制緩和	3
3 留学生の進路希望	3
（1）留学生の多くは日本国内での就職を希望	3
（2）留学生の日本国内の就職は厳しい状況	3
4 専修学校留学生の在留資格	4
（1）在留資格（就労ビザ）が制限	4
（2）専修学校留学生のニーズ	4
（3）国の制度改正の動向	4
第2章 専修学校の留学生に対する採用ニーズ	5
第3章 大阪発「アジア交流コース」とは	
1 目的	6
2 大阪発「アジア交流コース」の種類	6
3 大阪発「アジア交流コース」の要件	7
（1）国内（大阪）就職支援コース	7
（2）ブリッジ人材育成コース	8
第4章 大阪発「アジア交流コース」のモデルコース	
1 国内（大阪）就職支援コース	
（1）上田安子服飾専門学校 ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	9
（2）エール学園 国際ビジネス学科	11
（3）大阪YMCA国際専門学校 国際ホテル学科	13
（4）関西外語専門学校 アジア語文ビジネス学科	15
2 ブリッジ人材育成コース	
辻調理師専門学校 調理師本科・調理技術マネジメント学科	17
第5章 大阪発「アジア交流コース」の創設・普及に向けて	
1 推進体制の構築（大阪発「アジア交流コース」推進委員会の設置）	19
2 推進委員会の取組みの方向性	19
大阪発「アジア交流コース」検討ワーキング 委員名簿	21

数多くの留学生が、「就職に必要な進んだ技能や知識を身に付けたい」という思いで日本に留学しています。

「就職に必要な技能や知識に関する教育」は、まさしく専修学校の職業教育そのものです。近年の留学生数の状況を見ても、専修学校における留学生の伸び率は、大学を上回っている状況にあり、年々、専修学校で学びたいという留学生は増えています。

こうした中、昨年度、文部科学省において、専修学校における留学生の受入れに関する制限が緩和されるなど、制度的にも専修学校における留学生の受入環境が少しずつ整備されているところです。

しかしながら、留学生が日本国内で就職する場合には、在留資格を取得する必要がありますが、その分野は限定されており、日本国内で就職を希望しながらも、国内で就職できる留学生は依然として少ない状況にあります。

大阪府専修学校各種学校連合会では、こうした状況の中において、留学生の「就職に必要な技能や知識」を身につけたいというニーズに対応するため、すでに一部の専修学校で取り組まれている内容を参考に、より実践的な教育を通じて、日本国内や出身国での就職など「出口の見える」職業教育を提供していくため、この度、「大阪発『アジア交流コース』の創設・普及に向けて」を策定することとしました。

大阪発「アジア交流コース」の取組みを進めていくことで、「大阪で学び・大阪で働く」留学生が、今後、より一層増えていくものと考えています。

今後とも、大阪府や、大阪入国管理局、大阪商工会議所をはじめとする産業界や労働関係機関の皆さまと連携し、専修学校の職業教育を通じたアジアとの交流が促進されるよう、取組みを進めていく所存です。

社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
会長 福田 益和

本格的な国際化時代を迎え、国内のあらゆる分野でグローバル化に拍車がかかりだしました。人材育成の分野でも、その動きは顕著で、特に近年円高による企業の海外進出は今後一層加速され、留学生の活躍する場面も増えてくることでしょう。

しかしその一方で、現実社会では、留学生の就職環境は大変厳しいものがあります。留学生の採用にあたって、企業にはまだまだ心理的な壁があり、就職率は2割と低迷しております。しかしその壁もここ2、3年で少しずつですが破られつつあります。大手のアパレル企業やコンビニエンスストアが大量の留学生採用に踏み切りだしました。留学生と企業とのマッチングフェアも参加企業が倍増しています。いよいよ人材面の国際化が一步踏み出されたという気がしております。

さて、このような環境の中で、留学生の強みであるバイリンガルに磨きをかけなければなりません。それと共に留学生の弱みである日本文化や日本の常識をしっかりと学ぶ必要があるでしょう。特に日本企業のビジネスマナーは強く要求されます。(社)大阪専修学校各種学校連合会(以下「大専各」という。)ではこれらの状況を踏まえて、留学生が就職した時に困らないようにするためのカリキュラムを開発して、留学生基礎力と名付けました。このカリキュラムをベースとした教材を開発し、全国の日本語学校、専門学校で活用していただこうと準備をしております。

大阪府が進めている新国際化戦略の一環として、国際人材の育成の一役を担うために、この大専各では「アジア交流コース」を推進していく計画です。もともと大阪府と共に日本人に対応した産学接続事業を進めてまいりましたが、その国際版ともなる事業でもあります。まだまだ制約の多い環境にありますが、色々な分野の方々と共に留学生の就職環境を整えてまいりたいと考えております。皆様方のご支援をお願いする次第です。

社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
留学生委員会委員長 長谷川 恵一

1 専修学校（専門課程）の留学生数等（平成22年5月1日現在）

(1) 全体の約2割が専修学校留学生

全国の留学生の総数は、約14万人であり、そのうち、約2万8千人が、専修学校（専門課程）における留学生である。

	留学生数	割合
大学院	39,097人	27.6%
大学	72,665人	51.3%
専修学校（専門課程）	27,872人	19.7%
準備教育課程	2,140人	1.5%
合計	141,774人	

※(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」

(2) 大阪府の留学生数は全国で2番目

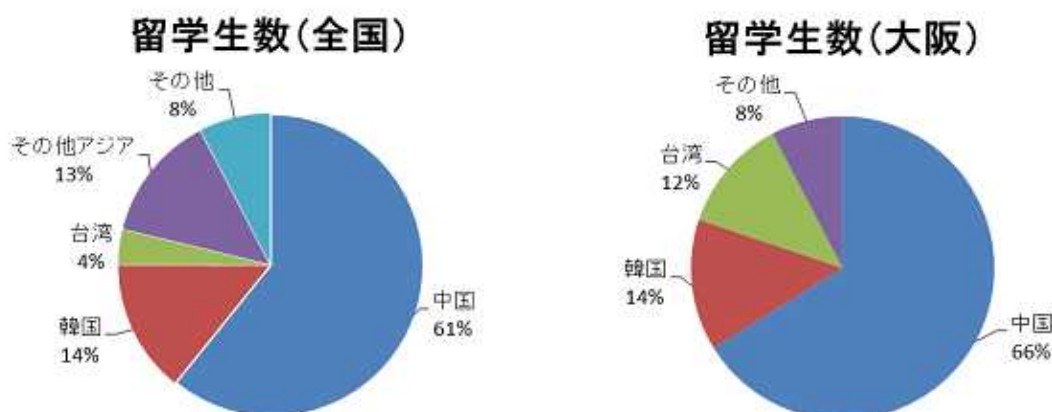
大阪府の留学生数は、約1万1千人であり、全国で東京に次いで2番目に留学生を数多く受け入れている。

都道府県名	留学生数	割合
東京都	45,617人	32.2%
大阪府 (うち専修学校留学生)	10,791人 (2,805人)	7.6%
福岡県	9,665人	6.8%
愛知県	6,773人	4.8%
埼玉県	6,153人	4.3%

※(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」

(3) 約9割がアジアからの留学生

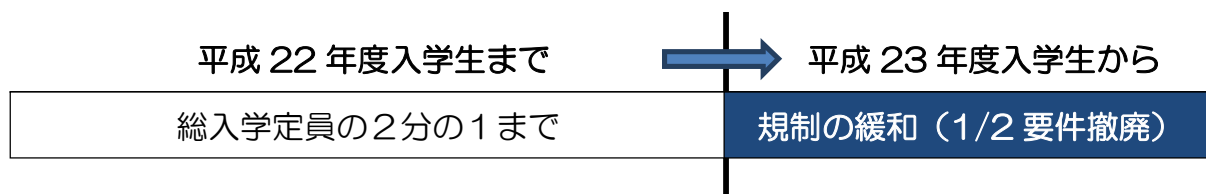
留学生の約9割がアジアからの留学生で、中国、韓国、台湾からの留学生だけで、約8割となっている。



◎専修学校をアジアとの交流の拠点に！！

2 専修学校における留学生の受入れに関する規制緩和

専修学校における留学生の受入れに関しては、これまで総入学定員の2分の1までという制限があったが、経済のグローバル化と人材の国際競争が激化する中であって、専修学校教育の振興の観点からも、留学生の受入れ促進を図るため、平成22年9月に、その制限が緩和された。



◎さらなる専修学校における留学生の受入れの促進！！

3 留学生の進路希望（平成21年10月現在）

（1）留学生の多くは日本国内での就職を希望

留学生の卒業後の進路希望として、日本における進学のほか、日本において就職を希望する生徒が多い。

また、出身国での就職を希望する留学生も一定程度存在する。

	日本において進学を希望	日本において就職を希望	出身国において進学希望	出身国において就職希望
全体	44.6%	56.9%	3.6%	28.5%
専修学校	53.6%	51.2%	2.9%	19.9%

※複数回答設問

※(独)日本学生支援機構「平成21年度私費外国人留学生生活実態調査」

（2）留学生の日本国内での就職は厳しい状況

多くの留学生が日本国内での就職を希望する中、日本国内で就職を実現しているのは、全体の2割程度であり、専修学校留学生においては全体の1割程度となっている。

	日本国内で進学	日本国内で就職	出身国で進学	出身国で就職
全体	41.4%	17.8%	0.9%	8.8%
専修学校	59.5%	10.3%	1.0%	4.5%

※(独)日本学生支援機構「平成21年度外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」

◎留学生に国内就職など「出口の見える」職業教育が必要！！

4 専修学校留学生の在留資格

(1) 在留資格（就労ビザ）が制限

専修学校留学生が、日本国内で就職するためには、「専門士」の称号を取得するとともに、就職先の職務内容と専修学校の教育内容に関連性がある業務に従事するものとして、「技術」、「人文知識・国際業務」等の就労可能な在留資格を得る必要がある。

ただし、調理・製菓や介護福祉等の分野については、該当する在留資格がなく、専修学校を卒業（専門士の称号を取得）しても、当該分野で日本国内で就職することは困難な状況にある。

(2) 専修学校留学生のニーズ

(1) のとおり、一部の分野では日本国内で就労が制限されているが、当該分野での留学生のニーズは高くなっており、特に、「食の都・大阪」においては、専修学校で日本料理の技術や文化を学ぶために留学する生徒が増加している。



(3) 国の制度改正の動向

① 専修学校卒業生の就労を目的とする在留資格に係る上陸許可基準の見直し

○改正前：専門士の称号を付与された専修学校卒業生が、「技術」、「人文知識・国際業務」等により入国しようとする場合には、上陸許可基準における学歴要件（大学を卒業し又はこれと同等以上の教育を受けていること）を満たさないことから、入国が許可されない。



○改正後：日本での就職を希望しつつ就職できずに帰国する専修学校卒業生も多いことにかんがみ、留学生に対する就職支援を図るため、専門士の称号を付与された専修学校卒業生について、入国の場合において学歴要件を満たすよう措置（*平成23年7月1日改正）

② 介護福祉士の国家資格を取得した外国人が就労可能となる制度の整備

（「規制・制度改革に係る方針」平成23年4月8日閣議決定）

○概要：EPAに基づく介護福祉士候補者以外の外国人が、我が国の介護福祉士資格を取得した場合、介護福祉士として我が国で就労できるように在留資格を新たに創設することについて、その可否を含め検討する。〈逐次検討〉

※「EPA」とは、経済連携協定をいう。

◎専修学校留学生の就職環境の整備（在留資格の緩和）が必要！！

(社)大阪府専修学校各種学校連合会（以下「大専各」という。）と大阪商工会議所が実施した共同調査によると、専修学校留学生の採用を考えている企業が、回答した企業全体の約3割程度あるなど、グローバル化に対応した採用ニーズが見られる。

- 専修学校留学生の採用ニーズ

⇒正規社員として採用を考えている企業が約3割

＊海外取引や海外拠点のある企業の採用ニーズが比較的高い。

- 外国人留学生の採用効果

海外事業等がしやすくなる（51.1%）、職場に良い刺激になる（47.8%）など

- 外国人留学生採用にあたっての不安

上司による指導やマネジメントが難しい（64.4%）、コミュニケーションに不安（63.3%）等

◎専修学校の留学生に対する企業の採用ニーズは高い！！

1 目的

大阪発「アジア交流コース」とは、アジアからの留学生が増加する中で、専修学校における実践的な職業教育を通じて、留学生に対する総合的なサポートとあわせて日本国内や出身国での就職などの「出口の見える」教育を提供することを目的とした、専修学校の教育コースをいう。

2 大阪発「アジア交流コース」の種類

大阪発「アジア交流コース」は、以下のとおり分類される。

①国内（大阪）就職支援コース

⇒大阪で就職を目指す留学生に対して、企業と連携した出口の見える職業教育を提供

②ブリッジ人材育成コース（出身国等での就職支援）

⇒専修学校における高度な専門教育により、出身国で活躍できる留学生（架け橋となる人材）を育成



- 専修学校を拠点としたアジアとの交流の促進
⇒外国人留学生の受入れ促進
- 留学生に対する実践的な職業教育による技術・技能の向上
⇒外国人高度専門人材の育成

3 大阪発「アジア交流コース」の要件

(1) 国内（大阪）就職支援コース

「国内（大阪）就職支援コース」は、留学生基礎力（留学生版「社会人基礎力」）の育成にあわせ、企業等のニーズに沿った長期実習等を行うなど、留学生の日本国内（大阪）での就職を支援する教育コースをいう。

1 留学生の就職支援体制等の構築

留学生の在籍管理や日本企業で働くためのノウハウや常識の指導などを行う体制（専任の職員の配置など）が学内で構築されていること。

2 「留学生基礎力」を養成するカリキュラムの作成

留学生が日本社会の中で必要となる基礎的な力である「留学生基礎力」を養成するためのカリキュラムが作成されていること。

3 専修学校と企業等が「職業教育協定」を締結

専修学校が企業等の人材育成を受託するなどの教育協定を締結していること。

4 企業等のニーズに沿った「職業教育カリキュラム」の作成

専修学校と企業が十分な協議を行い、企業等の人材育成ニーズ（基礎的なスキルと専門能力）に沿ったカリキュラムを専修学校が作成していること。

5 企業等における現場研修の実施

企業等における実践的な現場研修を行い、留学生の職業能力の向上を図っていること。

6 入管法、労働法規などの法令遵守

留学生の在籍管理が適正に行われているとともに、資格外活動等に当たって入管法や労働法規などの法令が遵守されていること。



(2) ブリッジ人材育成コース

「ブリッジ人材育成コース」は、日本の技術やノウハウが学べる実践的な職業教育カリキュラムによる技能等の育成とともに、海外（出身国）企業との連携・提携により、出身国における就職を支援する教育コースをいう。

1 留学生の就職支援体制等の構築

留学生の在籍管理や企業等で働くためのノウハウや常識の指導などを行う体制（専任の職員の配置など）が学内で構築されていること。

2 専修学校と海外（出身国）企業と連携・提携

海外における日本の技術力等に関する企業・業界ニーズを把握し、当該企業との連携・提携により、留学生の出身国における就職支援を行う。

3 日本の技術・ノウハウが学べる「職業教育カリキュラム」の作成

企業等の人材育成ニーズ（基礎的なスキルと専門能力）に沿った、日本の技術・ノウハウ等が学べるカリキュラムを作成していること。

4 企業等における現場研修の実施

企業等における実践的な現場研修を行い、留学生の職業能力の向上を図っていること。

5 入管法、労働法規などの法令遵守

留学生の在籍管理が適正に行われているとともに、資格外活動等に当たって入管法や労働法規などの法令が遵守されていること。



上田安子服飾専門学校

(ファッションビジネス・ストアマネージメント学科)

学科の特徴

■実際の店舗で体験しながら学び、実践的に即戦力を育成します。

教室内で学んだことを、(株)ワールドの実際の店舗で体験しながら学ぶことができます（3年間で約900時間の店舗実習を予定。）

最前線の現場で接客・販売経験を積み重ねることで、高度な接客スキルや業界ノウハウを身に付けることができます。

■(株)ワールドの店舗で将来、店長として就職することも可能です。

アパレル業界では通常、販売職として就職した後、店長職になるには3~5年（個人差あり）の現場経験が必要です。しかし本学科を優秀な成績で卒業した場合、1年以内に(株)ワールドのブランドショップの店長として就職する道も開かれています。

■学習奨励金（奨学金）が支給されます。

(株)ワールドの協賛により、優秀な学生に対しては学習奨励金（奨学金・返還不要）が支給されます。年間35万円~45万円の奨学金が支給されるので、3年制の学科を2年分の学費で卒業することができます。

留学生の声

私は昔から、興味があったファッションの専門知識と技術を勉強しようと思って専門学校に入学しました。私は将来、プロフェッショナル販売員として日本で働きたいと思っています。そして、その経験の後は、商品開発や、国際貿易に関係する仕事もして、会社の経営にも関わって、将来には日本と韓国をファッションで繋ぐ仕事もしたいです。今は、韓国と同じように、日本でも就職するのはとても難しいことと知っていますが、入学の時に先生に就職が一番近いコースだと聞いて入学を決めました。今は、日本の中でのファッション業界での就職するために必要な知識と技術を、学校と店舗実習の両方で勉強しています。知識だけが頭にあっても、経験しないと分からない事もたくさんあります。今は先生に教わった事を基本にして、店舗でも実際にお客様を相手にしながら勉強しています。これからもっとファッションと日本語を勉強して、卒業の後は日本で就職して、たくさんの経験をしたいです。



全 慧敏（韓国）

提携企業の声

明日のファッション産業の活力となる事を期待しています。ワールドグループは、変化の激しいマーケットや消費者のニーズに対応し、環境変化を生き抜く価値創造企業としてさらなる成長を目指し変革を続けています。その変革の鍵を握るのは「人」。我々が求める人材とは、明るく、前向きで、自ら課題を創造し、強い意志を持って、チームワークで問題解決が出来るじりつ（自立・自律）した活力ある人材です。ファッションビジネス・ストアマネージメント学科は、「顧客視点」を基に活力ある人材育成を目指し、当社と上田安子服飾専門学校様とが共同で開発した特別なプログラムです。私たちワールドグループも教職員の皆様と協力し、有意義で充実したキャンパスライフを過ごせるようお手伝いします。そして、皆さんが「販売のプロ」として、明日のファッション産業の活力となる事を期待しています。

留学生においては、卒業後、日本国内の店舗で就職した際は、東アジアを中心とした外国のお客様に対しての接客や、海外店舗においては、現地採用のスタッフに日本のノウハウを指導できる人材として、その活躍を期待しています。

株式会社 ワールド

学科概要・授業形態

- ◇ファッションビジネス・ストアマネージメント学科（昼間部・3年制）は、卒業後すぐにショップマスター（店長）を目指す人のための特別な学科です。
- ◇大手アパレル企業、株式会社ワールドとの教育コラボレーションにより実際のワールド店舗で約900時間（3年間）もの店舗実習を実施。
- ◇直接、プロの指導のもと接客・販売を現場で学ぶことで、学内で学んだファッションの専門知識を、実践の場で本物のノウハウ、技術へと高めていきます。
- ◇めざすのは、卒業後ブランドショップの店長として活躍できるアパレル販売やショップ運営の知識と技術を身につけたプロフェッショナル！
- ◇さらに、この学科で学ぶ優秀な学生に対しては、株式会社ワールドの協賛のもと、本学より特別に学習奨励金（奨学金）〔※年間35万円～45万円を予定〕が支給され、学費の負担軽減になり、非常に有利です。

就職の状況

卒業生は本人の希望により、(株)ワールドの正社員として就職が可能（審査あり）で、4年連続希望者全員（本年度は内定）が正社員として採用されました。

学費等

入学金 ¥300,000（初年度のみ）

※外国人留学生の入学志願者は、その奨学援助として入学金が減額されます。

学費 ¥890,000（年間（二回分納））

学生研修費 ¥60,000（年間）

※出願・入学手続きについては、留学生担当までお問い合わせください。

エール学園（国際ビジネス学科）

学科の特徴

- ①エール独自の実践学習システム（実践で気づき、専門課程で基礎を固め、実践で活用）
- ②豊富な採用選考型インターンシップ（国際人財活用ネットワーク加入企業と連携）
- ③留学生の就職に特化したスタッフが直接企業を紹介（留学生オリジナルの就職支援システム）
- ④徹底した検定対策授業（日本語能力検定 N1、BJT 対策を徹底し企業が求める日本語能力に対応）
- ⑤母国言語を生かした国際都市大阪の街づくりに協力し社会貢献の意義を学ぶ（大阪府、大阪市の国際化やインバウンド施策への協力）



就職の状況

- ◆2010年度外国人留学生内定率 84%（就職希望者 19名中 16名が内定）
（残り3名のうち、1名は出身国で就職、2名は国内で就職活動中）
【参考：インターンシップ（有償・無償）実績件数 164件（2010年度）】

留学生の声

インターンシップが決まり 9 月から卒業まで週 3 回の活動をした後に内定が決まりました。環境や業務の内容をわかっていたので引き続きここで働きたいと思うようになりました。実習で印象的だったことは、社長と一緒に中国へ出張し、取引先や仕入れ値の交渉を直接し通訳的なこともやらせていただきました。また、仕事面で工夫していることは納期が近づいてくると工場にメールや電話で生産がどのように進んでいるのか問い合わせます。少しでも遅れそうであれば、早めに販売予定の会社と企画を再調整したり、中国からの発送方法を変更したりすることがあります。

インターンシップをすることにより日本で就職の可能性が大きく変わると思います。



国際ビジネス学科
陈秋玉さん

提携企業の声

弊社はソフトバンクモバイル（個人/法人）の販売、NTT フレッツ光取扱い等通信事業、中国人留学生紹介事業、また中国語コンシェルジュセンター事業を行っています。

特性に依じて、アルバイト（有償インターンシップ）を通してビジネスマナーやルール、事務処理、営業などを教えており、真剣に取り組む学生はやはり成長してゆきます。また、経営に興味を持ち、ビジネスマインドを身につけた人にはパートナーシップ事業として、独立支援も行っており、やる気のある人が成長し、しっかり成果を上げ、頼もしいパートナーとなっています。

現在、中国語コンシェルジュセンターを立ち上げ軌道に乗せたいと考えています。海外から来られるお客様に対して、しっかりとマーケティングをした上で進めてゆきたいと思えます。



株式会社 CORE
代表取締役 田内比登志氏

学科概要・授業形態

◆授業時間数：週 25 時間

◆授業時間数 1724 時間（2 年間） 1 年次 877 時間、2 年次 847 時間

【1 年次】

科目名	時間	概要
キャリアデザイン	93	「なりたい」自分を見据え目標にむかって自己啓発を行う。
アントレプレナーシップ論	93	起業家としてのマインドとスキルを身につける。
ビジネス英会話	62	ビジネスに必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。
ビジネス基礎	62	海外での文化的背景について学び、効果的なビジネス展開を図る為のスキルを身につける。
経営分析Ⅰ	93	損益計算書・貸借対照表の数値分析の方法を学び、経営に関する分析を行う。
経営戦略論Ⅰ	93	経営環境の変化に伴い技術革新、顧客ニーズの多様化、グローバルな競争激化などに対応する方法を学ぶ。
ビジネス日本語	89	日本語によるビジネス場面でのコミュニケーション能力を高め、検定試験も目指す。
会計学入門	93	会計の基本的な内容を学び、簿記、損益や部門別予算、原価管理等を学ぶ。
現代経営論	55	現代の企業で必要とされるリーダーシップ力や経営力を学ぶ。
パソコン実習	62	ビジネス文書など企業で求められる PC スキルを身につける。
国際関係論	62	国際機関、多国籍企業、NGOなどの国際的な相互依存関係とその問題を学ぶ。
発見研修	20	自らの強みを活かしくラスコミュニティの中で活動を行う。

【2 年次】

科目名	時間	概要
キャリアデザイン	93	社会に貢献出来る自己の役割に気付き他者支援力を身につけます。“留学”をキャリアアップのチャンスとして位置づけ、自己についての理解を深め、人生と国際社会で活躍できる仕事を結びつけたキャリアデザインを支援する。
応用ビジネス日本語	83	経営者として状況対応力を要する場面など、日本企業とのやりとり求められる日本語ビジネス表現や文章作成を身につける。
経営分析Ⅱ	93	損益計算書・貸借対照表の数値分析の方法を学び、経営に関する分析を行う。
経営戦略論Ⅱ	93	経営環境の変化に伴い技術革新、顧客ニーズの多様化、グローバルな競争激化などに対応する方法を学ぶ。
ビジネスコミュニケーション	62	真の国際人としてのコミュニケーションスキルを身につけます。
現代企業論	51	現代の企業が求めている「人材」について学び自己の「ありかた」にも反映させより社会で求められる人材となる力を身につける。
アントレプレナーシップ論Ⅱ	62	創業成功のポイントを習得し、創業事例や個別のワークにより実感を持って創業・経営が推進できるようにする。
会計学	93	会計の基本的な内容を学び、簿記、損益や部門別予算、原価管理等を学ぶ。
ビジネスプレゼンテーション演習	62	日本国内外での出来事について多角度からの視点からの発表及び、意見を述べられる表現力を身につける。
マーケティング	93	成功した企業のマーケティング事例を通して、消費者ニーズや市場攻略等の手法について学ぶ。
メンターシップ論	62	経営管理者として「なりたい自分・つくす自分」を基本とした、人の成長のプロセスを支援することによって企業及び社会が活性化していく思考方法、知識、知恵、技術、方法論が身につける。

学 費 等

【1 年次】選考料：20,000 円 * 早期出願制度（選考料免除）有

入学金：80,000 円

授業料：650,000 円（国際特待制度適応後の授業料）

諸費用：50,000 円

【2 年次】授業料：750,000 円（国際特待制度適応後の授業料）

諸費用：40,000 円

* 国際特待制度とは…私費外国人留学生は、1 年次の学費より 140,000 円、2 年次については 40,000 円をそれぞれ減免します。

大阪YMCA国際専門学校（国際ホテル学科）

学科の特徴

1. **ホスピタリティ** ・ ・ ・ ・ ・ 心のふれあいを大切に
 学校生活のあらゆる場面で「ホスピタリティ」（おもてなしの心）を考え、育み、実践します。
2. **少人数制** ・ ・ ・ ・ ・ クラス担任制によるきめ細かな指導
 「人を育てる」というきめ細かな学生指導が、一人ひとりの技能と知識を伸ばします。
3. **身だしなみ** ・ ・ ・ ・ ・ 伝統の「YMCAスタイル」
 第一印象の多くは、身だしなみで決まります。スーツ登校と清潔感への意識が、好感を持たれる立居振舞のセンスを磨きます。
4. **資格取得** ・ ・ ・ ・ ・ 理解できるまで丁寧に指導
 資格取得のための指導を授業を通して行っています。
 （HRS検定／日本語能力試験／日商PC検定／英検／TOEIC など）
5. **経験豊かな留学生教育** ・ ・ ・ ・ ・ ビジネスプロトコル、異文化理解
 母国と日本の架け橋として活躍できるホテルマンとしてのマナーと知識を身につけます。
6. **高い就職率** ・ ・ ・ ・ ・ 全国組織、少人数制、伝統
 一人ひとりを大切にした就職指導を踏まえ、ホテル業界との強いネットワーク、卒業生の活躍による信頼関係に支えられています。



ホテル実習



就職の状況

2010年度留学生 就職実績
 スイスホテル南海大阪、セントレジスホテル大阪、ハイアット・リージェンシー・オーサカ、帝国ホテル大阪、シェラトン都ホテル大阪、ホテルユニバーサルポート、ホテル大阪バイタワー、大阪東急インなど

留学生の声

ホテル実習では、学校で学んだ知識を現場で実践し、経験を積み重ねることができました。ホテル業は、プロの集団です。教科書では学ぶことのできないサービス員の個人的センスというものを、現場のマネージャーから学ぶこともできました。実習で身につけたサービススタンダードとサービスに対する心構えが土台となり、即戦力と認められて内定をいただきました。今の仕事でも理解が早いと評価され、今後も頑張りたいと思います。



スイスホテル南海大阪 関炳勲

提携企業の声



スイスホテル南海大阪
 人事部長 琴野 尚美 様

（大阪YMCA国際専門学校顧問、YMCAホテル学校OB会副会長）

スイスホテル南海大阪は、お客様の喜びを自分の喜びと感じ、スイス生まれの質の高いホスピタリティを追求し、一緒に成長していただける方を求めています。ホテル実習は、学生たちがホテルの現場と社風を理解する好機となるだけでなく、企業側も、是非この人と働きたいと思える人材との出会いの場でもあります。毎年、ホテル実習がきっかけで卒業まで実習を継続され、そのまま社員契約に繋がることも多くあります。

学科概要・授業形態

◆学科概要

学科名	修業年数	入学時期	募集定員	専門士	授業時間数	年間授業時間
国際ホテル学科	2年	4月・10月	40名	『専門士』の称号を授与された学科	週25時間	年850時間

◆授業形態

授業日	月曜日～金曜日
授業時間	1時間目 9:00～9:50
	2時間目 10:00～10:50
	3時間目 11:00～11:50
	4時間目 12:50～13:40
	5時間目 13:50～14:40
	6時間目 14:50～15:40
	7時間目 15:50～16:40



授業風景



ホテルOB会

◆授業内容

- 1年次 ホテル概論、ホテル英会話、フランス語、ブライダル総論、フロントサービス、レストランサービス、接客マナー、レストランサービス技能検定対策、就職対策演習、英語（Listening, English Arts, Reading, Writing, TOEIC）、Word 演習、Excel 演習、NLP、日本語能力試験対策、異文化間ビジネス研究
- 2年次 ホテル授業計画、レストランサービス技能検定対策、ホテル就職対策、飲料実務、ホテル英会話、英語（Listening, English Arts, Reading, Writing, TOEIC）、Word 演習、Excel 演習、NLP、日本語能力試験対策、異文化間ビジネス研究

◆ホテル実習

実習時間数	年間175時間
職種	宿泊、料飲部門
主な実習先	スイスホテル南海大阪、セントレジスホテル大阪、ハイアット・リージェンシー・オーサカ、リーガロイヤルホテル、シェラトン都ホテル大阪、ホテルユニバーサルポート、大阪東急インなど

学 費 等

〔1年次〕	入学金	150,000円	※指定校免除制度有り
	授業料	880,000円	※特待生奨学金制度有り
	諸経費	87,000円	
〔2年次〕	授業料	880,000円	※特待生奨学金制度有り
	諸経費	87,000円	

- ※特待生奨学金制度
- A特待生：入学金免除、学費 400,000円減免
 - B特待生：入学金免除、学費 200,000円減免
 - C特待生：入学金免除、学費 100,000円減免
 - D特待生：入学金免除

関西外語専門学校（アジア語文ビジネス学科）

学科の特徴

世界経済の成長センターとして大きな期待が寄せられているアジア。

そのコアとなる日本・中国・韓国の言語や文化、価値観を結びつけて活躍できる人材を育成します。教育目標は日本人と同等の日本語運用能力をもった人材の養成にあります。そのため自国の人に日本語を教えることが十分にできるだけの能力を習得させることも目指しています。

また、本学科ではカリキュラム以外に、インターンシップ制度とボランティア通訳という制度があります。インターンシップ制度では国内の様々な宿泊施設で就業経験を積んでもらっており、今年度は宮崎や淡路島で実務を経験してもらいました。さらにボランティア通訳活動では、現場での通訳業務に就いてもらっています。机上の学習だけではなく実地経験を経ることで、より高い実力がつき、実力がつくことでモチベーションアップが図れるのです。これまでも、スポーツイベントでの通訳、海外メディアの取材の通訳、国やその他の公的機関主催の商談会など様々な通訳経験を積んでもらい、高い評価をいただきました。そしてこの毎回のボランティア通訳での高い評価が、次の新たなオファーにもつながっております。

（右写真：2010 アジア野球選手権大会 in 倉敷）



就職の状況

母国語＋日本語というバイリンガルスキルを活かし、国際流通、海外取引等の場面で活躍できる職種を希望する学生が多く、個別対応を中心にした指導で、高い就職率を保っています。

【22年3月卒業生就職希望者5名就職内定者5名内定率100%】

留学生の声

私は、関西外語専門学校で通訳翻訳を専攻し2年間学びました。当社は化学品の輸出入、卸売を行っており、私は台湾・中国のお客様との対応での通訳や文書の翻訳、さらに国内受発注を担当しています。学校では日本語会話の基礎やビジネスナマ―さらに日本文化の授業などがあり、多くのことを身につけることができました。中国語と日本語の両方を生かすことができ自分の通訳や翻訳によって商談が成立したときは嬉しくやがいがいを感じます。



葉書吟さん

（日中通訳翻訳養成専攻 2011年度卒業）

提携企業の声

海外の取引先からの商談や連絡などで、力を発揮してもらっており、海外の出張先でも好評です。彼女の場合、単に言葉を置き換えると言うだけでなく、その時の状況に応じた訳を心がけてくれることがありがたいと思います。今後はより計画的に仕事を行って欲しいし、彼女にはそれができると思っています。社員に留学生がいることで、他の日本人社員に海外の雰囲気や日常的に与えることができるということはメリットになると考えています。



加島裕久氏

（アルファー化研株式会社 代表取締役）

学科概要・授業形態

■学科概要

学科名	修業年数	定員	始業・終業時間	授業時間	年間授業時間
日中通訳翻訳養成専攻	2年	20名	09:00～16:20	90分	1,080時間
日韓通訳翻訳養成専攻	2年	20名	09:00～16:20	90分	1,080時間

日本語の4技能〔読解力、聴解力、会話力、表現力（書く力）〕をレベルアップさせるための様々な科目を通訳・翻訳に特化して展開しています。

例 時事通訳翻訳：国内のニュースを日本語で取り上げ中国語（または韓国語）に翻訳します。また中国や台湾（または韓国）のニュースを原語で取り上げこれを日本語に翻訳します。「ヘッドライン」「リード」「本文」などそれぞれにふさわしい訳が可能になる語彙力を養成し、限られた文字数で表現できる力をつけます。

その他の科目：実務通訳Ⅰ・Ⅱ、通訳演習Ⅰ・Ⅱ、観光通訳翻訳Ⅰ・Ⅱ、読解、日本文化研究、日本語文書作成Ⅰ・Ⅱ、日本語会話、また選択科目として国際日本検定や通訳案内士などの対策講座もあります。

年間30回の授業でこれらの科目を履修すると、1科目＝4単位が認定されます。進級に必要な単位は60単位、卒業に必要な単位は120単位です。

■授業形態

語学の習得には密度の濃い授業と反復が必要であるとの観点から、本校では1クラス20名以下の少人数制を採用しており、学生対教師の対面学習時間が長くなるよう工夫されています。また、討論や発表が毎回取り入れられており授業に積極的に参加できるようになっています。

学校での授業以外にも校外研修として、京都や奈良など近隣観光地での通訳実習や施設見学などを実施しています。またインターンシップ制度により、国内の様々な地区の宿泊施設で実務経験を積むこともできます。

さらにはボランティア通訳として商談会などで実際の通訳として仕事を体験してもらっています。



(右写真：関西広域観光産業商談会にて)

学 費 等

留学生に対しては留学生特別入試制度を設けており、経済的援助を目的とした学費減免措置を実施しています。具体的には入学金の免除および授業料の減免で、その他詳細は以下の通りです。

学科名	入学時期	選考料	入学金	授業料
日中通訳翻訳養成専攻	4月	20,000円	免除(通常200,000円)	760,000円
日韓通訳翻訳養成専攻	4月	20,000円	免除(通常200,000円)	760,000円

また、授業料の分割納入や、各種奨学金制度もあります。

辻調理師専門学校 (調理師本科) (調理技術マネジメント学科)

学科の特徴

◆調理師本科（1年制）

日本・フランス・イタリア・中国料理からエスニック料理まで幅広い料理ジャンルを1年間で深く学びます。「食」の世界に関わるさまざまな人材を育てます。

取得できる資格：調理師免許・大阪府ふぐ登録者証

◆調理技術マネジメント学科（2年制）

幅広いジャンルの料理を繰り返し学ぶことで、しっかりと技術を身につけることができます。さらに「経営マネジメント」や世界標準の衛生管理方式「HACCP」などを学び、これからの調理師に必要な総合力を身につけます。

取得できる資格：調理師免許・大阪府ふぐ登録者証・レストランサービス技能検定3級



※留学生に対しては、調理分野における専門用語等について入学前教育を実施。

就職の状況

◆主な就職先

【韓国】(株)ETANG (メニュー開発)、センタムホテル (日本料理)、ロッテホテル (飲食部) 寿司考 (寿司)、PDPWine(株) (日本料理等) など

【台湾】豊川 (日本料理)、加賀屋 (日本料理)、實踐大学料理研究室 など

留学生の声

私は2010年3月に辻調理師専門学校調理師本科を卒業しました。卒業が近づくと韓国での就職に対して悩むようになりました。その時PDPWine(株)の就職説明会が辻調理師専門学校であると聞きました。就職説明会が終わってから面接試験を受けることができるのかを確認をしました。快く受け入れてくださって説明会の翌日面接試験を受け、結果は韓国に帰国後、1週間のインターンシップで採用が可能だという連絡がきました。卒業してから学校で学んだ多様なジャンルの調理技術や専門的な知識は、今の仕事の上でテクニックだけではなく多くの面で立っています。



金 先美

提携企業の声

PDPWine(株)は、韓国のワイン文化とともに成長して来た企業です。ワイン及び食文化複合文化空間である「PODOPLAZA」(ソウル市)を運営しています。

現在、PDPWine(株)は、辻調理師専門学校の卒業生7人が勤務しています。辻調理師専門学校の卒業生は、在学中に基本的な調理技術や専門知識だけでなく現場で活躍する料理人らの特別セミナーなど実質的かつ多様なプログラムに参加した経験があり、学業期間中にも現場に対する間接的な体験と、料理人としての情熱を持つことができ積極的な様子が見られるところが採用の過程で長所となっています。



PDPWine 株式会社

学科概要・授業形態

◆学科概要

学科名	修業年数	定員	始業・終業時間	週休日	年間授業時間
調理師本科	1年	518名	9:10～ 16:00	週2日	1,050時間
調理技術マネジメント学科	2年	296名			第1学年 1,050時間 第2学年 840時間

◆授業形態

授業日：月曜日～金曜日

授業時間：1時間目 9:20～10:10 2時間目 10:20～11:10 3時間目 11:20～12:10
4時間目 13:10～14:00 5時間目 14:10～15:00 6時間目 15:10～16:00

【授業内容】

○ 調理師本科

食文化概論、衛生法規、公衆衛生学、栄養学、食品学、食品衛生学、社会
調理実習、調理理論、専門調理理論

○ 調理技術マネジメント学科

(第1学年) 食文化概論、衛生法規、公衆衛生学、栄養学、食品学、食品衛生学、社会
調理実習、調理理論、専門調理理論

(第2学年) 店舗マネジメント論、食情報論、ホスピタリティ産業論、食の安全衛生

* 授業形態および授業内容、その他詳細については、変更する場合があります。

学 費 等

調理師本科（1年制）

入学金	教育充実金	授業料	実習費	合計
250,000円	70,000円	1,090,000円	730,000円	2,140,000円

* 学費以外でかかる経費 約100,000円（教科書、白衣、包丁セット代など）

調理技術マネジメント学科（2年制）

	入学金	教育充実金	授業料	実習費	合計
第1学年	250,000円	70,000円	1,026,000円	540,000円	1,886,000円
第2学年	—	—	1,200,000円	624,000円	1,824,000円

* 学費以外でかかる経費

第1学年分 約200,000円（教科書、白衣、包丁セット、個人利用のパソコン代など）

第2学年分 約40,000円（教科書代）

1 推進体制の構築（大阪発「アジア交流コース」推進委員会の設置）

大阪発「アジア交流コース」の創設・普及に向けて、本ガイドラインに基づき、専修学校における留学生の受入れや就職支援、カリキュラムの作成に関する相談・助言を行うとともに、専修学校の実践的な職業教育を通じたグローバル人材の育成に向けた取り組みを進めるため、大阪発「アジア交流コース」推進委員会を設置する。

当該推進委員会では、以下の方向性を踏まえ、大阪発「アジア交流コース」の創設・普及に向けた取り組みを進める。

2 推進委員会の取り組みの方向性

方向性1 専修学校における留学生のサポート・就職支援体制の充実

- 専修学校を拠点としたアジアとの交流を促進させるためには、すでに多くの専修学校において、留学生の受入れ（適切な入学者選抜、入学後の生活面等のサポートなど）や在籍管理（留学生の不法就労等の防止等）の体制が整備されているところであるが、今後、さらに留学生の受入れの拡大を図るためには、こうした体制の整備を専修学校全体に広げていく必要がある。
- また、留学生の日本国内での就職ニーズが高いことを踏まえ、今後さらに就職に関する相談体制の充実や「留学生基礎力」の育成強化を図る必要がある。

方向性2 留学生の受入拡大・就職支援のための在留資格の緩和

- 第1章・4で述べたとおり、専修学校における教育分野のうち、調理・製菓や介護福祉などの分野については、該当する在留資格がないために、日本国内での就職が難しい状況にある。
- しかしながら、その一方で、日本で専門的な技術やノウハウを学び、日本国内での就職や、企業等の現場で一定期間の経験を積みスキルアップを図りたいという留学生のニーズも高まっている状況にある。
- 日本・大阪への留学生の受入拡大を図り、専修学校が持つ職業教育力や、日本の職業技術、文化、サービスなどについて、アジアを始めとする海外に正しくPRしていくためには、在留資格の要件緩和（「特定活動」として一定期間の日本国内での就労を認めるなど）が必要である。

*留学生の受入拡大

大阪で学ぶ外国人留学生数：2020年までに「23,000人以上」を目指す。
（「大阪府国際化戦略」を踏まえ目標を設定。）

方向性3 専修学校と企業との連携の促進

- 近年、企業の留学生の採用ニーズが高まる中、企業のニーズを踏まえた人材育成や、企業と留学生のマッチング機会の拡大が求められている。
- 大専各では、専修学校と企業との交流会や留学生のための合同企業説明会を開催するなど、企業との連携を図るとともに、留学生に対して、企業ニーズ等を踏まえた実践的な職業教育を提供するなど、教育内容における企業との連携も進めているところである（大阪発「アジア交流コース」モデル事例（国内（大阪）就職コース））。
- 今後、留学生の受入拡大や国内での就職支援（外国人高度専門人材の育成）を行うためには、さらに企業との連携を図り、留学生と企業とのマッチング機会の拡充や、企業ニーズを踏まえたカリキュラムの作成等を進めていく必要がある。

方向性4 海外でのプロモーション力の強化

- 留学生の受入に当たっては、各専修学校が独自に海外でプロモーションを行っている状況にある。
- 今後、留学生の受入拡大を図るためには、各分野の専修学校が連携し、大阪の魅力、大阪発「アジア交流コース」モデル事例における取組みなどの情報を発信していく必要がある。
- 現在、大専各では、モデル的な取組みとして、ベトナムの日本人学校へのプロモーションについて、専修学校が連携した取組みを行っており、こうした取組みを今後拡大していく必要がある。

大阪発「アジア交流コース」検討ワーキング 委員名簿

氏名	所属	備考
福田 益和	(社)大阪府専修学校各種学校連合会会長	大専各会長
長谷川 恵一	(社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長	大専各 留学生委員会委員長
上田 哲也	学校法人上田学園 理事長	教育関係(ファッション)
神田 尚人	大阪 YMCA 国際専門学校 校長	教育関係(ホテル)
田中 祐司	学校法人辻料理学館 事務局長	教育関係(調理)
久保山 宗男	南海福祉専門学校 事務部教務・広報渉外主任	教育関係(介護福祉)
鱧谷 貴	大阪商工会議所 人材開発部次長	産業関係
山口 正強生	大阪労働局 職業安定部職業対策課地方職業指導官	労働関係
市橋 康伸	大阪府 府民文化部私学・大学課長	教育関係
染矢 美抄	(財)大阪府国際交流財団 企画推進グループ長	留学生総合支援

●その他関係機関

大阪入国管理局留学・研修審査部門
 大阪入国管理局就労・永住審査部門
 大阪府商工労働部人材育成課

平成23年度文部科学省委託事業

「専修学校留学生総合支援プラン」関西型留学生就職支援基盤の構築3

大阪発「アジア交流コース」の創設・普及に向けて

～ 専修学校の職業教育を通じたアジアとの交流の促進 ～

発行日 平成23年12月 第1版

発行者 社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 大阪発「アジア交流コース」検討ワーキング

住所 〒534-0026 大阪市都島区網島町6番20号

電話番号 06-6352-0048 FAX : 06-6352-7553

<http://www.osaka-senkaku.or.jp/>